

業務実績報告書

提出日 2020年 1月 14日

1. 職名・氏名 教授 塚原典央

2. 学位 学位 修士、専門分野 文学、授与機関 北海道大学、授与年月 S60.3

3. 教育活動

(1) 講義・演習・実験・実習	
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 哲学(2単位 毎年開講) 1年次生 (2004年度以前～)	
② 内容・ねらい 様々な問題に対して、既成の知識や権威の言葉を鵜呑みにせず、自分自身で考えて行くという哲学の基本的な態度を身につける。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 哲学の議論は抽象的な話になりがちだが、出来る限り学生諸氏の身近な問題を例にとり、問題を具体的に理解できるようにし、自分の問題として捉え考えることが出来るようにしている。また「禅の教え」についても永平寺の和尚さんに講義してもらっている。	
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 倫理学(2単位) 1年次生 (2004年度以前～)	
② 内容・ねらい 私たちが日々直面する個人的な倫理問題や社会的な倫理問題に対して、自分で考え対処して行くための基本的な教養を身につける。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 倫理学の問題を理解するためには、「そもそも善とは何か」とか「善はいかに定義されるか」といったメタ・レヴェルの抽象論ばかりではなく、日常生活の中で実際に会う問題を、自分で考えることが一番の近道だと考え、例を身近な具体的なものにとり、自分の問題として考えられるようにしている。	
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 西洋思想 (2単位) 1年次生 (2016年度～)	
② 内容・ねらい 西洋における「知識」と言われるものの歴史的な変遷をたどって、現代の「科学的知識」を中心とする知識のあり方を吟味する。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 テキストの読解に十分な時間をかけ、著者が問題にしている哲学問題の背景や、具体例を示し、多角的に理解できるように促した。	
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 現代人権論(オムニバス) (2単位) 1年次生以上 (2014年度～)	
② 内容・ねらい: 担当第2回 どうして人間は「権利」を持っているのか。——権利の根拠を哲学する——	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 社会契約説について、関連するゲーム理論などを用いて解説した。	
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 導入ゼミ (1単位 毎年開講) 1年次生 (2004年度以前～)	
② 内容・ねらい 文章を正確に読み、自分の考えを展開し、それを討論やレポートにおいて適切に表現する練習を行う。言い換えれば、大学生に要求される基本的な読解力と表現力を身につける。	

<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>大学教育へのソフト・ランディングという意味合いの強い授業のため、あまり専門性の強くない話題や読み物を選び、学生各人がじっくり読みそして考えられるよう配慮している。そして、討論に参加しやすいように、話題を身近に感じられるような具体例や、問いの立て方を工夫している。レポートについても、作成の仕方を十分説明した上で、必ず赤を入れて返却するようにしている。また、開校時には履修の仕方についても、改めてガイダンスしている。</p>	
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等</p> <p>教養ゼミ（行って、見て、聞いて、考える、永平寺町学）（2単位 毎年開講） 1年次生（2004年度～）</p>	
<p>② 内容・ねらい</p> <p>フィールドワークを通して、大学の立地する永平寺町の文化・歴史・産業・自然について理解する。</p>	
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>実際に現地へ行って、直に見て、当事者から話を聞いて、できれば実際に体験して永平寺町を肌で理解してもらおう。また最後に関係者の前で、講義やフィールドワークでの学びおよび考察を発表する。</p>	
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等</p> <p>学術特論（2単位 毎年開講） 2年次生以上（2004年度～）</p>	
<p>② 内容・ねらい</p> <p>論理的な文章の読解力と、自ら思索しその考えを分かりやすく表現する能力を身につける。</p>	
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>受講生の数が変動するため一貫したことができていないが、教養ゼミの発展型の授業として各学生に授業してもらおう仕方で進めている。事前の準備段階で、参考文献、プレゼンテーションの形式、配布プリントの様式等学生と共に細かく相談して決めることにしているが、当日は出来る限りこちらが介入しないようにしている。</p>	
(2) 非常勤講師担当科目	
<p>① 担当科目名（単位数） 開講学校名</p>	
<p>② 内容・ねらい</p>	
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p>	
<p>④ 本学における業務との関連性</p>	
(3) その他の教育活動	
特になし	

4. 研究業績

(1) 研究業績の公表	
① 論文	<ul style="list-style-type: none"> 「言語ゲームと縁起——ウイトゲンシュタインとナーガールジュナの言語批判哲学——」, 15-35頁, 『福井県立大学論集 第52号』、2019、9。 「縁起・無自性・空——ウイトゲンシュタインから龍樹へ、そして道元へ——」, 『福井県立大学論集 第53号』、2020、2（予定）。
② 著書	特になし

③ 学会報告等 特になし
④ その他の公表実績 特になし
(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動 特になし
学会での役職など 特になし
学会・分科会の開催運営 特になし
(3)研究会活動等
① その他の研究活動参加 特になし
② その活動による成果
(4)外部資金・競争的資金獲得実績 特になし
(5)特許出願 特になし

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会 特になし
② 国・地方公共団体等の調査受託等 特になし
③ (公益性の強い) NPO・NGO法人への参加 特になし
④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内での) 企業等での活動 特になし
⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 特になし
⑥ その他 特になし
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講 特になし
② 社会人・高校生向けの講座 特になし
③ その他 特になし
(3)その他 (個人の資格で参加している社会活動等)
・ 一本木地区の未来を考える会 役員代表 (2011-9年度)

6. 大学の管理・運営

(1) 役職（副学長、部局長、学科長）
図書館長
(2) 委員会・チーム活動
・ 教育研究審議会委員 ・ ハラスメント等人権問題に関する委員会委員長 ・ 海洋生物資源学部担当教員
(3) 学内行事への参加
特になし
(4) その他、自発的活動など
特になし